

まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No.200

令和8年(2026)
2月22日

- 令和7年度一般会計補正予算を可決
- 指定管理者の指定について(舞鶴市西市民プラザ)を可決
- 舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について「議員定数を24人に改める案」を可決

主 な 内 容	12月定例会のあらまし	2
	常任委員会の審査報告	2
	各会派討論の内容	4
	議会防災訓練	6
	議案の採決結果	6
	一般質問	8
	常任委員会活動計画(重点事項・活動方針)	17
	議員定数に関する議論の経過と結論	18
	市民と未来を語ろう ～みんなでほっとミーティング～	19
	「市民と議会のわがまちトーク」開催案内	19
議会学習会(小学校)	20	
第200号の節目に寄せて	20	
3月定例会の予定	20	

議会だよりはホームページから
ご覧いただけます。



議会へようこそ!
みんなでつくろう未来の舞鶴



岡田小学校 6年生



由良川小学校 6年生



福井小学校 6年生



吉原小学校 6年生



高野小学校 6年生



池内小学校 6年生

12月定例会のあらし

- 国土交通省の国庫補助金が当初予算額を超えて確保できたことから、建設予定地の用地を取得するため「中央図書館整備事業費」を増額するなど、総額7億7,584万円の令和7年度一般会計補正予算（第5号）を可決
- 国の「強い経済」を実現する総合経済対策に基づき、食料品等の物価高騰により影響を受けている生活者の負担軽減と地域内の消費喚起を促進する「まいづる生活応援商品券発行事業費」、子育て世帯を力強く支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する「物価高対応子育て応援手当給付事業費」、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている市民や事業者を幅広く支援するため、水道基本料金の6カ月分を無料にする「水道基本料金無料事業費」への補助金など、総額7億8,504万円の令和7年度一般会計補正予算（第6号）を可決
- 令和6年12月から適正な議員定数について議論してきた結果、次回の一般選挙（令和8年11月の見込み）から24人（現状から1人削減）とする「舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について〔議員定数を24人に改める案〕」を賛成多数で可決

令和7年舞鶴市議会12月定例会は、11月26日から12月24日までの29日間開催されました。12月定例会に市長から提案された議案は、令和7年度補正予算10件、条例7件、その他8件の21議案を審議した結果、25件を原案のとおり可決・同意しました。加えて、議会提提出議案の条例改正3件のうち「舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について〔議員定数を24人に改める案〕」など2件を可決し、残り1件を否決するとともに、意見書1件を否決しました。

予算決算委員会の主な審査内容

令和7年度一般会計補正予算（第5号）

広報まいづる編集業務委託経費（債務負担行為）、広報まいづる印刷業務委託経費（債務負担行為）

Q 債務負担行為の詳細

A これまで編集業務と印刷業務を一括して発注してきたが、これから両方の業務を行うことができる市内事業者が限られていることから、より多くの事業者が参加できるように業務を分割して、債務負担行為を設定するものである。

Q 現在の印刷部数は

A 印刷部数は4万300部で、3万8500部全戸配布しているほか、令和7年からは公的4病院、郵便局、大型スーパーマーケットなどにおいて配布を始めている。

西市民プラザ指定管理料（債務負担行為）

Q 直管から指定管理へ戻す理由

A 地域住民等との意見交換では、運営方針実現に向け、地域住民や事業者、行政が連携して実現していくべきとの意見をいただき、そのためには、民間事業者のノウハウ等をお借りしながら運営していく必要があると判断したため。

集団特定健康診査等業務委託経費（債務負担行為）

Q 国保特定健康診査および後期高齢者健康診査は、いずれも無料で受けることができる

A 健診であるが、健診の内容には、聴覚に関する検査が入っていない。健診項目に聴覚検査を加え、聞こえの改善に役立てることを検討してほしいが、市の認識は

A 国保特定健康診査、後期高齢者健康診査は、

高齢者の医療の確保に關する法律に基づき、国が定める標準的な項目によって実施しており、聴力は必須項目には含まれていない。現在、国において聴力検査の導入について、費用対効果や検査後の効果的なアフターフォロー体制など、研究を進めている状況であり、その動向を注視している。

令和7年度一般会計補正予算（第6号）

まいづる生活応援商品券発行事業費

Q 発行部数の考え方と一人当たりの購入限度は

A 直近の「まいづるプレミアム商品券2025」の販売実績を踏まえて2万セットとした。一人当たり2セットまで購入できることとするが、仮に申込者数が2万人に満たない場合は、全員が1セットは購入できるようにして、2セットを希望さ

委員会の 審査報告

本会議において付託された議案は、市民文教委員会6件、産業建設委員会1件、総務消防委員会5件、予算決算委員会10件であり、それぞれの委員会で審査しました。

れている人の中から抽選するという方法を考えている。

物価高対応子育て応援手当給付事業費

Q 支給時期は早くならないか

A 早期の支給を目指し、対象者の確定やシステムの準備を進めているが、必要な法的手続きもあることから、2月下旬からの支給を見込んでいます。

令和7年度水道事業会計補正予算(第1号)

水道基本料金無料事業費

Q 下水道使用料を無料にすることも考えられるが、水道基本料金にした理由は

A 普及率が高い水道の基本料金を6カ月分無料にする事で、広く公平に効果が

果が行



き渡るものと考ええる。

常任委員会の
主な審査内容

市民文教委員会

舞鶴市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

児童福祉法の改正に伴い、未就園のゼロから2歳児を対象に就労要件を問わず、月10時間利用できる乳児等通園支援事業「こども誰でも通園制度」を実施する上で必要な設備および運営に関する基準を定めるもの。

Q 試行実施した現状認識は

A 公立3園で令和7年10月から試行実施しているが、対象者数約600人に対して、申込者数125人と想定よりも多く、民間の各施設にもご協力いただきたいと考えている。

指定管理者の指定(舞鶴市西市民プラザ)

指定管理者を公募した結果、2団体からの申請があり、選定委員会で一般財団法人有本積善社を指定管理者の候補者に決定したものの。

Q 指定管理者募集に至るまでの経過は

A 令和5年12月定例会で請願が採択されたことを受け、地域住民へこれまでの経緯説明会を令和6年4月から7月までの計4回、今後の施設の方向性や運営方針に関する意見交換会を令和6年10月から翌年3月までの合計5回を開催し、西市民プラザの方向性を踏まえた5つの運営方針を取りまとめた。

産業建設委員会

損害賠償の額を定めることについて(市内道の樹木の管理瑕疵による物損事故)

市道敷地内にあった桜の木が倒れ、軽自動車1台が全損したため、その弁済費用を支払うもの。

Q 街路樹等の点検の基準や方法は

A おおよその樹齢は把握しており、樹種ごとの寿命も踏まえた目視による点検のほか、必要に応じて樹木医等に確認を依頼するなど適宜対応している。

総務消防委員会

舞鶴市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正

令和7年度中に新築工事が完了予定である新しい西消防署の位置を舞鶴市字西108番地3と定めるもの。

舞鶴市火災予防条例の一部改正

林野火災の予防のため、市長が林野火災に関する注意報又は警報を発令し、火の使用制限に関する努力義務を課す区域又は火の使用を制限する区域を指定することができる規定などを定めるもの。

舞鶴市議会の情報発信 ~ YouTube と Facebook ~

舞鶴市議会 公式YouTubeチャンネル

舞鶴市議会では、議会の「見える化」を図る方法の1つとして、「舞鶴市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しています。

本会議や委員会のライブ配信・録画配信に加えて、定例会の概要報告や委員会の活動報告など、舞鶴市議会がどのような活動をしているかをご理解いただくための動画を配信していますので、是非ご覧ください。



チャンネル登録を
よろしく願います。

舞鶴市議会 公式Facebook

「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関するさまざまな情報を随時発信していますので、是非ご覧ください。

チャンネル登録や「いいね!」もお願いします。

舞鶴市議会
YouTube



舞鶴市議会
Facebook



舞鶴市議会
ホームページ



あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画 議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう わがまちノ開催案内

議会学習会

第30号の節目に寄せて

定例会予定

議会PR

討 論

令和7年12月24日の最終本会議において、提案された議案に対して討論を行いました。

あらまし

委員会審査

討 論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わがまちノ開催案内

議会学習会

第200号の節目寄せて

定例会予定

議会PR

討 論

子どもの育ちの応援は公的責任で

日本共産党議員団

21議案に賛成し、1議案に反対する。

こども誰でも通園制度の基準を定める条例制定は、保育や他の子育て支援制度と比べて市の関与が大きく後退し、保育の市場化を進めるものである。全ての子どもの育ちを応援するには、保育士の配置基準を抜本的に改善し、専用の保育室を確保するなど、公が責任を持つ体制が必要であることから、反対する。4億8500万円、8割の用地購入となる中央図書館建設では、物価高騰による事業費増加が見込まれ、市民

への説明や分館構想の具体化など、市民合意を得ることに注力すべきと要望し、賛成する。さらなる暮らしの下支えを

国の交付金の活用で、水道基本料金無料事業が6カ月拡大されたことや、低所得者世帯と家計急変世帯へ一人当たり5千円分の商品券配布事業は、物価高騰が長期間続く中での市民生活を下支えするもので、党議員団としてかねてから要望してきた内容である。今後、第二弾の柔軟な展開を求め、賛成する。



続く物価高で暮らしの悲鳴が

討 論

市内で循環する効果的な施策展開を期待

新政クラブ議員団

全議案に賛成する。

一般会計補正予算(第5号)の中央図書館建設予定地の用地購入費4億8500万円は、国の補助金増額に對して的確に對応されたもので、事業のスムーズな進捗を期待する。退職手当の追加等による人件費の補正3億142万円は、賃金上昇によって物価高騰や急激なインフレに對し、職員の生活を守り、国全体の経済を押し上げる重要な要素として、官民問わず強く推進されており、賛成する。一般会計補正予算



前回のプレミアム商品券

商品券は全希望者に行き渡る試算

討 論

物価高騰対策は迅速な対応を求める

自民党鶴政クラブ議員団

全議案に賛成する。

一般会計補正予算(第5号)は、人件費関係等の補正3億1142万7千円、中央図書館建設予定地の用地購入費4億8500万円など総額7億7584万円の補正であり、賛成する。

追加上程された一般会計補正予算(第6号)および水道事業会計補正予算(第1号)は、国の物価高騰対策を盛り込んだ経済対策を含む予算である。今回の補正は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金によるまいづる



本市水道の要となる上福井浄水場

生活応援商品券発行事業費に2億6650万円、市民や事業者を幅広く支援するため、水道基本料金6カ月分を無料とする予算2830万円、子育て世帯を支援する児童手当の対象児童1人につき2万円を支給する予算2億1300万円を計上した予算である。また、人件費関係では給与や病院事業会計等への追加措置などである。事業の実施において、迅速に市民に届くことを要望し、賛成する。

令和7年12月24日の最終本会議において、提案された議案に対して討論を行いました。

討論

討論

市民支援の強化と地域経済活性化に期待

超党・市民ファースト議員団

全議案に賛成する。
中央図書館の用地取得や西舞鶴駅前広場の整備、学校給食費無償化による子育て支援、人件費の補正などを評価する。
西消防署の移転や庁舎新築工事などの大規模投資についても、災害リスクに対応し強固な防災拠点を構築するものとして、円滑な行政運営と市民の安全確保の観点から賛成する。
まいづる生活応援商品券発行事業は、食料品やエネルギーなどの物価高騰の影響が続く中、市民負担を軽減す

るものであり、地元のお店も含めて地域経済が活性化することを期待し、賛成する。
水道基本料金の6カ月分の無料化や子育て世帯に児童1人につき2万円を支給することも、子育て世代を応援する本市にとつて的を射た政策と評価し、賛成する。

人件費の補正は、人事院勧告に基づき行われる国家公務員の給与改定の取り扱いに準じ、本市職員の給与改定を行うものであり、適正な方策として賛成する。



誰もが住み良いまち舞鶴に

討論

市民生活向上の施策推進に期待

公明党議員団

全議案に賛成する。
一般会計補正予算（第5号）では、西舞鶴駅前広場整備による利便性の向上と機能強化が図られた点を評価する。今後の中央図書館の整備は、市民の学びと交流の場としての役割が一層高まることを期待する。乳児等通園支援における育児支援の強化事業は、今後の本格実施に向け、試行事業を通じて明らかとなったニーズや課題を的確に把握し、実効性ある制度となることを期待し、賛成する。
一般会計補正予算

（第6号）では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した生活応援商品券の発行や水道基本料金の6カ月間無料化は、低所得者から中間所得層までを支援するバランスの取れた生活支援と認識し、評価する。市民への丁寧な説明と残る交付金を有効活用することにより、市民生活を一層応援する施策の推進に期待する。また、子育て応援手当給付事業も迅速かつ漏れない対応に期待し、賛成する。



市民の暮らしを支える物価高騰対策を

本会議や委員会等は、どなたでも傍聴することができます

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴する場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはFAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承の上、お早めにご相談ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

議会を傍聴してみませんか



舞鶴市議会

検索

議会の防災訓練を実施しました

舞鶴市議会では、災害時においても議会・議員の役割を的確に果たせるように、災害対応の基本的な考え方や行動マニュアルを取りまとめ、定期的に防災訓練を実施しています。

今回は、市役所庁舎の消防訓練に避難者として参加するとともに、市職員の初期消火や避難誘導の手順等を第三者の視点から確認しました。また、同日、情報伝達訓練も実施しました。

◆市役所消防訓練

避難者として救助袋やはしご車により避難したほか、職員が初期消火や避難誘導を行う様子を視察し、手順等に問題がないかを確認しました。

◆情報伝達訓練

大雨により市内各地で被害が発生している想定で、議員が把握した情報をweb上のシステムを利用して伝達・共有する訓練と、オンラインによる議会本部会議（対応等を検討する会議）の開催訓練を行いました。



オンラインで会議を開催



はしご車による避難



webのシステムを利用した情報伝達

【会派】 鶴政…自民党鶴政クラブ議員団、新政…新政クラブ議員団、超党…超党・市民ファースト議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団 ☆舞鶴市議会の議員定数は25人です。

川口孝文	肝付隆治	谷川眞司	水嶋一明	南正弘	今西克己	田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	眞下弘明	山本治兵衛	高橋秀策	仲井玲子	西村正之	廣瀬昇	福本明日香	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	議決をした日
鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	鶴政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	超党	超党	超党	超党	超党	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12月24日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12月24日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12月24日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12月24日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	12月24日

固定資産評価審査委員会委員の選任

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、令和7年12月24日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

新任：小酒 由美子氏 再任：阪本 清一郎氏

議案の採決結果 (令和7年12月定例会)

会期11月26日～12月24日



令和7年12月定例会での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市のホームページでも公表しております。

全会一致で可決した予算議案

- 令和7年度舞鶴市一般会計補正予算(第5号)
- 令和7年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和7年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第2号)
- 令和7年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算(第2号)
- 令和7年度舞鶴市一般会計補正予算(第6号)
- 令和7年度舞鶴市水道事業会計補正予算(第1号)
- 令和7年度舞鶴市病院事業会計補正予算(第1号)
- 令和7年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算(第3号)
- 令和7年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算(第3号)
- 令和7年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計補正予算(第3号)

全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市火災予防条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決したその他の議案

- 損害賠償の額を定めることについて(市道内の樹木の管理瑕疵による物損事故)
- 指定管理者の指定について(舞鶴市西市民プラザ)
- 工事請負契約の変更について(舞鶴市西消防署庁舎新築工事)
- 工事請負契約の変更について(舞鶴市西消防署庁舎新築(電気設備)工事)
- 工事請負契約の変更について(青葉中学校体育館長寿命化改修工事)



全会一致で同意・可決した人事議案

- 公平委員会委員の選任について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

【賛否が分かれた議案】

【議決結果】 可…可決、 修可：修正可決、 否…否決、 同…同意、 不同：不同意、 承…承認、 認…認定、 可認…認定及び可決、 採…採択、 不採…不採択

【賛否】 ○…賛成、 ×…反対、 欠…欠席、 退…退席、 除…除斥、 棄…棄権、 停…出席停止

議案名	議員名等(会派内は五十音順)	出席者数 (議長を除く)	投票者数	賛成	反対	棄権	議決結果	上野修身	尾関善之
								鶴政	鶴政
市長提議案	舞鶴市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定について	24	24	21	3	0	可	○	○
議会提出議案	舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について [議員定数を24人に改める案]	24	24	16	8	0	可	○	○
	舞鶴市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について [議員定数を22人に改める案]	24	24	5	19	0	否	×	×
	舞鶴市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	24	24	21	3	0	可	○	○
	安全・安心の医療・介護を守るマンパワー確保に向け、すべてのケア労働者の処遇改善につながる報酬10%以上の引き上げを求める意見書	24	24	3	21	0	否	×	×

公平委員会委員の選任

公平委員会委員の任期満了に伴い、令和7年12月24日の本会議で次の委員を選任することに同意しました。

再任：足立 清治氏

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

令和7年 舞鶴市議会12月定例会一般質問

令和7年12月8日、9日、10日

順番	質問方式	氏名	質問事項	
1	一括	高橋 秀策	1 静浜ポンプ場建設工事について	2 小学校給食費無償化について
			3 赤れんが周辺等まちづくり事業の進捗について	
2	一問一答	上羽 和幸	1 物価高騰対策、重点支援地方交付金について	2 子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）について
3	一問一答	野瀬 貴則	1 災害時における公衆衛生の改善について	2 学校徴収金の公会計化について
4	一問一答	谷川 眞司	1 クマによる被害対策について	2 大学連携による健康寿命の拡大と市の医療体制の現況について
			3 本市の大規模火災対策について	
5	一問一答	伊田 悦子	1 義務教育に係る保護者負担の軽減について	2 通学路の安全確保について
			3 こども誰でも通園制度について	4 ジェンダー平等の本市の取組について
6	一括	廣瀬 昇	1 地域医療の再編統合と持続可能な未来について	
7	2分割	松田 弘幸	1 5歳児健診について	2 がん検診・健康診査の取組について
			3 婚活について	4 バスマち空間について
8	一問一答	眞下 隆史	1 JR東舞鶴駅周辺の開発について	2 市民参画によるまちづくりについて
9	一括	水嶋 一明	1 持続可能な消防組織の在り方について	
10	一問一答	小杉 悦子	1 農家が安心して生産が継続できる農業の振興について	2 地域医療の再編・統合について
			3 「水上無人機」の開発について	
11	一問一答	福本明日香	1 本市の特色ある教育について	2 二地域居住と関係人口の創出について
			3 本市の公共施設について	
12	一問一答	杉島 久敏	1 聴覚障がいのある方への支援について	2 マイナ救急実証事業について
13	一問一答	今西 克己	1 静浜ポンプ場土木工事に係る損害賠償議案審査について	2 逸失利益等の損害賠償が建設業法に基づき調停に付されたことについて
			3 静浜ポンプ場機械設備工事の現状と今後について	4 委員会審査を秘密会に委ねた市の受け止めについて
14	一問一答	南 正弘	1 新中央図書館について	2 市民からの声について
15	一問一答	小西 洋一	1 令和8年度の予算編成について	2 多文化共生のまちづくりについて
			3 質の高い行政サービスについて	
16	3分割	仲井 玲子	1 稼げる観光について	2 一団制となった舞鶴市消防団について
			3 舞鶴市沿岸部の海の保全について	
17	一問一答	小谷 繁雄	1 成年後見制度の現状と課題、今後の展開について	
18	一問一答	眞下 弘明	1 地域コミュニティの維持と役員負担軽減のための回覧板電子化について	2 本市における運動公園の熱中症対策について
19	一問一答	川口 孝文	1 重要文化財等の維持整備等について	2 カキ養殖の現況等について
			3 有害鳥獣等の捕獲・駆除等について	
20	一括	西村 正之	1 児童生徒の不登校について	
21	一問一答	田畑 篤子	1 市民サービスの向上について	2 高齢者や障害のある人が安心して生活することができる環境づくりについて
			3 市職員の議員に対するハラスメントについて	
22	一問一答	尾関 善之	1 静浜川ポンプ場建設について	2 指定管理者制度について
23	一問一答	山本治兵衛	1 西舞鶴駅西口駅前広場について	2 令和8年度予算編成方針について
			3 西市民プラザに関する懸念事項について	
24	一問一答	上野 修身	1 道路インフラ整備について	2 今後の国際交流について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式
 ※2 分割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※3 分割…質問項目を分野ごとに3回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式
 ※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問事項以外の詳細は、ホームページをご覧ください。
 ※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

舞鶴市議会

検索



一般質問通告要旨



一般質問一覧表

あらし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わかまトーク開催案内

議会学習会

第20号の節目を寄せて

定例会予定

議会PR

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

超党市民フリスト議員団

高橋 秀策



Q 市役所前バス停屋根付き休憩所の設置は設置に向け、具体的な検討を進めている



質問

令和6年3月

定例会において、市役所前ロータリー内に設置されるバス停は屋根付きになるのか質問したところ、歩行者の動線や視認性の確保などの観点から設置の計画はないとの答弁があり、検討を求める意見を述べて質問を終えた。市役所前バス停がロータリー内に移設されてから1年が経過したので、利用者の状況やニーズを十分に確認されてきたと思うが、バス停に屋根を設置することについて、市の方針に変化はあったのか問う。

答弁 市民や障害者団体などから要望があることに加え、今後、さらなる増加が見込ま



市役所前バス停

一般質問

公明党議員団

上羽 和幸



Q 子宮頸がん予防に男性のワクチン助成をさらなる接種率向上公費助成も検討する



質問

子宮頸がん予

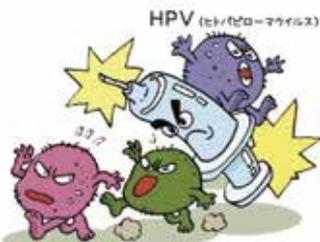
防HPVワクチンは男女ともに実施をすると効果が高いが、男性は任意接種で自己負担が大い。近年、多くの自治体が助成制度を始めており、パートナーを健康被害から守るべきとの人権意識が現在の若者には高い。自治体が実施することで国が決断をするよう、本市で男性ワクチン接種への助成の考えは。

答弁 男性接種は国で定期接種化に向け検討されているが、本市としては、女性のHPVワクチン接種率の向上を進めるとともに、男性の接種への公費助成についても検討する。

質問 政府は物価高騰支援策をまとめ、地方への重点支援交付金を総額2兆円としているが、本市への交付見込額と中低所得層を中心に全ての市民に直接恩恵のある活用を望むが、本市の見解を問う。

答弁 前回の算定式に当てはめ6億7千万から8千万円程度と試算している。物価高騰による市民負担の軽減に効果的な施策を検討、実施してまいりたい。

Q 全てのの人に物価高騰支援を効果的な施策を実施する



男性へのHPVワクチン接種支援を

一般質問

新政クラブ議員団

野瀬 貴則



Q 避難所トイレは封鎖前提の運用に変更を状況に応じた対応で封鎖は考えていない



質問

大規模災害の

発生時には下水管や処理施設が損傷しトイレが流れなくなる。すると避難所トイレは汚物が堆積し、衛生環境が急速に悪化する。その結果、トイレを忌避し、水分不足で重篤な症状を引き起こすことが問題視されている。避難所運営マニュアル等を改訂し、避難所トイレは正常が確認できるまでは封鎖、簡易トイレ等を使用する運用にすべきではないか。有事に備え、し尿収集運搬業者との連携強化について、市の考えを問う。

答弁 避難所で使用できないトイレが発生した場合、現場の状況に応じて適切な対応を取ることで、あらかじめ封鎖することは考えていない。状況に応じ必要な対策で、避難者が快適に使用できるトイレ環境の確保に努める。市内事業者とは、災害時におけるし尿等収集運搬無償応援協定書を締結し、平時はもとより災害時も被災地域の収集運搬にご尽力いただいている。今後も連携し、防災体制の充実強化に取り組んでいく。

質問 大規模災害の発生時には下水管や処理施設が損傷しトイレが流れなくなる。すると避難所トイレは汚物が堆積し、衛生環境が急速に悪化する。その結果、トイレを忌避し、水分不足で重篤な症状を引き起こすことが問題視されている。避難所運営マニュアル等を改訂し、避難所トイレは正常が確認できるまでは封鎖、簡易トイレ等を使用する運用にすべきではないか。有事に備え、し尿収集運搬業者との連携強化について、市の考えを問う。



災害時の避難所トイレは想像を絶する

あらし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わがまちの開催案内

議会公式学習会

第600の節目を祝って

定例会予定

議会PR

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団
谷川 眞司



Q ガバメントハンターの育成は

A 猟友会に協力を仰ぐ中で対応する



質問

近年、全国的にクマの出没が急増している。こうした状況を受け、令和7年9月、鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律が改正され、市街地での発砲を可能とする緊急銃猟が可能となった。制度では自治体職員が主導的役割を担うが、銃器の知識や経験を持たない職員が、市街地という極限状況での発砲判断を行うことは責任が重く、専門知識の取得が必要不可欠となる。ガバメントハンターの育成について、本市の見解を問う。

答弁 本市では、有害鳥獣対策の担当者が専門知識を取得する取り組みを進めており、直近3力年で2人が「わな猟免許」を取得



クマ出没注意の告示看板

一般質問

日本共産党議員団
伊田 悦子



Q こども誰でも通園制度より公的保育拡充

A 保育士配置基準見直し等今後も国に要望



質問

来年度から本格実施の「こども誰でも通園制度」は、親の就労の有無や要件を問わず乳幼児を時間単位で保育所に預けられる。これは、子どもの命と安全、成長過程に応じた保育の専門性・重要性の軽視である。保育の必要性を見直し、希望する全ての子どもたちに質の高い保育を保障することが必要である。市の認識を問う。

答弁 現在、公立3園で試行実施している。職員配置は、担任を持たない主任保育士等が保育を担当しており、本来業務を他の職員が担うなど、他の保育士等の負担が増加し、在園児への影響もあるが、互いに成長し合える機会と認識している。保

一般質問

超党市民ファースト議員団
廣瀬 昇



Q 地域医療の再編統合と持続可能な未来は

A 財政と雇用配慮し再編を推進する



質問

「東舞鶴に急性期、西舞鶴に回復期・慢性期の機能を集約する」という公的4病院再編統合の方向性は、地域医療を守る唯一の現実解として支持する。機能集約による医師確保や質向上は必須だが、市民の不安や現場の雇用への懸念も生じている。集約のメリットに対する丁寧な説明や運営主体の確立、必要なる財政支援、移行期間中の医療機能・雇用維持への対策など、本市の未来のために不転換の決意で改革を成し遂げる具体的な戦略を問う。

答弁 将来にわたり市民が安心できる医療提供体制構築を市の最重要責務とし、再編を強力に推進する決意である。物価高騰による



舞鶴市の公的4病院

Q 男性トイレにも汚物入れを

A 利用状況・課題を調査する

質問

男性トイレにサニタリーボックスの設置が必要と考えるが、現状と設置の考えは。

答弁 他の自治体が設置しはじめていると承知している。本市では公共施設の一部に設置しており、利用状況や課題を調査していく。



男性トイレのサニタリーボックス (埼玉県八潮市資料館)

※1 ガバメントハンター… 狩猟免許や専門知識を持ち、鳥獣の防除や捕獲、駆除を行う自治体職員

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

質問 令和7年度の
コメの生産状況は、高
温少雨による水田の水

Q 今年度コメの生産
の状況は
A 前年度を下回るが
半数

今ある診療機能は引き
続き維持・確保したい。
診療科の配置等は、運
営主体の考えも聞き決
定するものであるが、
今後
も中長期的な視点で生
産の安定化を図ってい
く考えである。



これからの医療はどうなるか不安

質問 病院再編・統
合について「東に一つ、
西に一つ」「急性期を
東に集約」は、市民へ
の説明が必要であり、
結果だけを知らされる
のでは、市民理解を得
ることができないので
は。市の見解を問う。
答弁 現在、機能の
集約場所や運営主体の
決定に向けた協議を行
っており、必要に応じ
て説明の機会を設ける
が、ある地域では収
穫量が前年の半分ぐら
いだったと聞いている
本市の被害状況や支援
策等について聞く。

一般質問
日本共産党議員団
小杉悦子
病院再編・統合
内容の市民説明を
議論の進捗を踏まえ
必要に応じ説明する



質問 令和7年度は、
インクルーシブな学校
運営のモデル事業が始
まって2年目を迎えて
いる。この3カ年計画
のうち、半分が終了し
ており、最終年度へ向
けた取り組みが期待さ
れるところである。普
段の交流を通して、相
手を理解し、相手の視
点で物事を考えること
ができる力を育む成果
が期待できると信じて
いる。過去の一般質問
の答弁でも、導入を検
討すると伺った。副籍
制度の導入について、
これまでの研究の進捗
と本市の見解を問う。
答弁 副籍制度は、
障害のある児童生徒が
居住地の学校と舞鶴支
援学校の双方に学籍を
置き、居住地とのつな
がりを維持しながら、

Q 副籍制度の導入に
ついて進捗と見解は
A 令和8年度導入に向け
準備を進めている

「共に学び育つ機会」
と「専門的な教育」の
両立を目的としている。
本市では、特別支援学
校の児童生徒が自分の
住んでいる地域の小・
中学校で行う交流や共
同学習をさらに推進し、
共に学ぶ機会の充実を
目指すとともに、令和
8年度からモデル校で
副籍制度が導入できる
よう準備を進めている。



副籍制度

「共に学び育つ機会」
と「専門的な教育」の
両立を目的としている。
本市では、特別支援学
校の児童生徒が自分の
住んでいる地域の小・
中学校で行う交流や共
同学習をさらに推進し、
共に学ぶ機会の充実を
目指すとともに、令和
8年度からモデル校で
副籍制度が導入できる
よう準備を進めている。

一般質問
超党派市民ファースト議員団
福本明日香
副籍制度の導入に
ついて進捗と見解は
A 令和8年度導入に向け
準備を進めている



質問 総務省消防庁
では、傷病者の健康保
険証利用登録をしたマ
イナンバーカードを活
用し、病院選定等に資
する情報を把握する取
り組みが進められ、令
和7年度の実証事業を
全国全ての消防本部に
おいて実施することが
決定された。準備の整
った消防本部から順次
開始される予定であり、
令和8年度には本格運
用の開始が予定されて
いる。本市におけるマ
イナ救急実証事業の本
格運用までの準備状況
について、どのよう
になっているのか問う。
答弁 マイナ救急は
国が取り組んでいる事
業で、10月1日から全
国一斉に事業展開され
ている。本市において
も、各消防署の救急自

Q マイナ救急、本格
運用に対する準備を
A 必要機材を積み込み
実証実験を開始

備車4台にカードリー
ダー等の必要機材を積
み実証事業を開始した。
今年度は、機材や通信
回線費用といった経費
が全て国負担であった
が、本格運用となる来
年度は、通信回線費用
のみを各消防本部が負
担することになってい
る。なお、国では引き
続き、財政措置につい
て検討されている。



マイナ保険証利用による医療提供

一般質問
公明党議員団
杉島久敏
マイナ救急、本格
運用に対する準備を
A 必要機材を積み込み
実証実験を開始



あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画 議定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わかまじトワーの開催

議会学習会

第30号議員寄せて

定例会予定

議会PR

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

新政クラブ議員団

今西 克己



Q 分科会の答弁が二転三転したことは意図して答弁を変えたものではない



質問

静浜ポンプ場

土木工事の損害賠償に係る議案審査において、社員等従業員給料手当の質疑で給与内訳書と現場代理人ほか3人、計4名の賃金台帳の合計額が給与内訳書などの合計額と異なっていた件について質疑をした。1回目の質疑では即答していただけず、数時間後の答弁となり、翌日、翌々日の答弁では答弁者も代わり差額の金額も含みその都度一定しない答弁の内容に終始した。答弁が二転三転したことに對する市の受け止めを問う。



工事中止期間中の静浜ポンプ場の現場

おける最善の認識に基づいて正しい答弁を行っている。その後、委員の指摘を受け、さらなる確認作業を行ったことで正確な情報が得られ、答弁を補足・修正する形で説明を重ねてきた。意図して答弁を変えたものではなく、真実に基づき、より正確な説明へと努めてきた結果である。

一般質問

自民党鶴ヶクラブ議員団

南 正弘



Q 公的病院の再編と中丹医療圏の考え方は圏域全体で必要な医療サービスを提供



質問

現在、本市では、公的病院の再編の決定に向け、各病院本部と協議を重ねているが、病院の再編の具体的な時期については、地域住民や病院職員にも影響を及ぼすことから協議の進捗を踏まえ、お示しできるタイムミングで具体的な説明を行うとのことであった。

現在、中丹医療圏として福知山や綾部、京都市内まで通院されている患者さんもいるが、病院の再編の時期と中丹医療圏について、本市の見解を問う。



中丹医療圏を結ぶバス

市や綾部市を含む圏域全体に必要な医療サービスが提供されている。京都府の定める医療圏の考え方を踏まえつつ、本市固有課題、医療資源の分散による非効率性を解消し、将来にわたる医療を持続可能な形で確保することを目的に行っている。

一般質問

日本共産党議員団

小西 洋一



Q 不用額精査はどのような視点で行うのか
A 予算精度の向上と適切な予算補正を行う



質問

令和6年度一般会計決算における不用額が21・5億円となった。この数年、国の大きな交付金により事業を進めてきたことが要因の一つであると考えられる。不用額の精査には、既存事業の見直しが必要となるが、どのような視点で精査を行うのか見解を問う。

費用対効果や経済性など、事業内容の精査・検証を徹底し、予算精度の向上に取り組むとともに、執行段階においても、適切に予算補正を行うなど、不用額の縮減に努める。

Q 変更による市民への影響は
A より大きな形で還元する

質問 窓口時間の変更（9時〜16時30分）

は、「働き方改革とは別で、明らかに市民サービスの後退では。」との市民の声もある。市役所業務の基本は「対面サービス」である。窓口時間の変更による市民への影響について問う。



市役所業務の基本は対面サービス

あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わかまどーく開催案内

議会議事録

定例会予定

議会PR

一般質問

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

超党・市民ファースト議員団
仲井 玲子



Q 稼げる観光に向けた市の見解は

A 観光資源を活用し稼ぐ力を最大化する



質問 かぶせ茶部門

で2年ぶり8度目となる全国1位の産地賞を受賞した舞鶴茶は、「日本一」というパワードで観光商品として、日本一の舞鶴茶がブレンドされている宇治茶としてアピールすべきである。クルーズ船観光客向けに第2ふ頭からまち歩きルートに沿ったお店の一角にお土産を置いてもらう事業シェアなど、事業所間の連携について市の見解を問う。観光ビジョンを策定中であるが、「稼げる観光」について、どのようなビジョンを持っているのか。

答弁 茶生産組合とも調整を図る中、今年も日本一となった舞鶴茶の



日本一の舞鶴かぶせ茶

一般質問

公明党議員団
小谷 繁雄



Q 成年後見制度のさらなる充実を

A 制度の充実と関係機関と連携し支援する



質問 成年後見制度

は、判断能力が不十分な方々の権利擁護と生活支援を担う重要な仕組みであり、その円滑な運用は地域福祉の基盤となる制度である。一方で、制度の理解不足や後見人の確保、手続の複雑さなどの課題が利用の広がりを妨げている。支援体制の整備や通知先変更の一括登録制度の導入、制度の理解促進や市民の関心を高めるための取り組みについて、本市の見解を問う。

答弁 成年後見支援センターの相談員を増員し、相談支援体制を強化している。通知先変更の一括登録制度は、後見人の負担軽減と行政事務の効率



中総会館内にある成年後見支援センター

一般質問

新政クラブ議員団
眞下 弘明



Q 負担軽減のための回覧板のデジタル化は

A 情報発信の在り方について検討している



質問 地域コミュニティ

の希薄化や自治会加入率の低下が言われて久しい昨今、現場を支える自治会・町内会役員の負担軽減は必要不可欠と考える。回覧板の配布は役員の負担となっており、役員の手不足の理由の一つでもある。回覧板のデジタル化について、モデル地区を選定しての導入実験や導入に向けたデジタル化への補助など、デジタル回覧板の普及に向けた具体的な支援策を講じるべきと考えるが、本市の見解を問う。

答弁 回覧板は単に既存の紙媒体による回覧をデジタル化するという手法にとどまらず、市から自治会への情報発信はどうあるべきか、



デジタル回覧板のイメージ

あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わかま下ノ開催案内

議会学習習会

第30の若首に寄せて

定例会予定

議会PR

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。

質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団

川口 孝文



Q 野生動物による文化財被害の支援状況は

A 文化財補助制度の周知や適切運用を図る



質問

本市には、国指定重要文化財民家が所在している。所有者や保存会は維持・保存に努め、一般公開や講演会の開催など有効に活用されている。この活動の阻害要因に野生動物による被害がある。本市の支援状況を問う。

答弁 秋田市や富山県など他自治体では、AIカメラによる検知・通報システムによる導入などの実証実験に取り組まれていることは承知している。実証実験の実績・効果や導入費用などについて、しっかりと研究していく。

質問

ICTを活用したクマ対策

A しっかりと研究していく

質問 他自治体では、クマ被害対策として、AI搭載カメラと通信



国指定重要文化財民家一般公開

一般質問

超党派市民ファースト議員団

西村 正之



Q 不登校に対する今後の取り組みは

A 将来的な社会的自立を見据え取り組み



質問

不登校の小学生は5・6%増の13万7704人、中学生は0・1%増の21万6266人で、小学生は44人に1人、中学生は15人に1人の割合で、40人学級の中学校は1クラスに2人以上いる計算になる。学校内外でスクールカウンセラー

らの専門的支援を受けていない人数は13万5724人上がったと、報道されている。本市における児童生徒の不登校の現状と取り組み。また、舞鶴市教育支援センター「明日葉」の現状と取り組みを問う。

答弁 令和6年度の本市の不登校児童生徒は小学生90人、中学生178人である。また、

現在、明日葉には小学生14人、中学生12人が通級している。学校現場と教育支援センターが連携し、日常の丁寧な関わりや家庭訪問を通じて保護者と連携を密にし、フリースクールなどの民間施設や関係機関と有機的に連携しながら、不登校の解決に努め、学校復帰のみならず、将来的な社会的自立を見据えた取り組みを進める。



学校外の不登校支援の要となる明日葉

一般質問

新政クラブ議員団

田畑 篤子



Q 市政への女性活躍の推進は

A 積極的に女性職員の活躍推進に努める



質問

舞鶴は、自衛隊や漁業など男性的なイメージが先行しているが、戦後の引き揚げのまちであり、その「おもてなし」のすばらしさが語り継がれている。これこそが舞鶴を象徴する温かみのある「また訪れたいまち」であり「暮らしたいまち」である。女性の感性を信じた企画・運営に力を注いでみてはどうか。男女区別なく、能力とやる気と強い精神力が必要であると考えるが、女性活躍とその推進について、本市の見解を問う。

答弁 女性の活躍推進は、多様な視点を市政に取り込む上で重要であり、市の持続的な発展に不可欠であると認識している。その能力を最大限に発揮し、活躍できる環境を整備するため、仕事と家庭の両立を支援する取り組みやキャリアアップ研修、マネジメント研修などの能力開発に積極的に取り組んでいく。今後も女性職員が意欲的に生き生きと働き続けられる環境づくりを進めることで、女性職員の活躍推進に努める。



期待される女性活躍

あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わかまの開催案内

議会学習委員会

第300号の質問に答えて

定例会予定

議会PR

令和7年12月8日、9日、10日に本会議を開き、24人が一般質問を行いました。
質問事項は次のとおりです。

一般質問

一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団
尾関 善之



Q 積算根拠の不開示を廃止する考えは

A 入札執行に資する措置で開示はできない



一般質問

新政クラブ議員団
山本 治兵衛



Q 西舞鶴駅の駅前広場の今後の利活用は

A 利活用は地元の皆さまと一緒に取り組む



一般質問

自民党鶴岡クラブ議員団
上野 修身



Q 舞鶴若狭自動車道4車線化の整備状況は

A トンネル・橋梁工事並行して進めている



質問

委員会審査等

で積算根拠の提供を求め、指導検査課長から出されている土木工事における積算根拠の不開示とする通知を根拠に出せないとの答弁があり、提示金額が妥当か判断することができず、やむを得ず秘密会を了承したが、大きな課題を残した。これを廃止することで透明性や公平性確保の観点から疑問の解消、金額の妥当性など具体的に公正な取引であることを示すことができるが、この通知を廃止する考えがないかを問う。

答弁

府内で積算根拠を開示する自治体が複数あることは承知している。非公表の理由として、設計単価の公表は、入札の本来の意

義を失いかねない危険な行為であり、過去に発生した贈収賄事件などの不祥事を踏まえた必要不可欠な再発防止策であること。舞鶴市情報公開・個人情報保護審査会で、不開示とする決定がされていることから、公正・公平な入札執行に資する措置であり、現時点で開示することはできない。



審査で課題となった静浜ポンプ場予定地

質問

西舞鶴駅の西

口広場は旧バス待合所の撤去、地元商店街に真名井の清水庭園も再整備していただき、駅前が美しくなると地元住民に喜んでいただいている。京都府も中央分離帯を再整備され、西舞鶴の顔として美しく整備が完了した。ここで重要となってくるのは、広場の利活用が今後において求められるのではないか。

答弁

舞鶴工業高等専門学校の社会実験は以前より聞いていたが、今後の利活用について、現時点での市の考えを問う。

舞鶴工業高等専門学校の社会実験を引き続き進めていくとともに、駅を多く利用する高校生や地域の方、周辺の商店街の方



地元商店街が再整備した幽斎庭園

質問

道路は、現代

社会の最も基盤となるインフラの一つである。単に人や物の移動を支えるだけでなく、近年の地震や集中豪雨など大規模な自然災害が頻発する中、市民の生命・財産を守るとともに、地域経済の活性化にも不可欠である。現在、舞鶴若狭自動車道では、舞鶴パーキングエリアから小浜西ICまでの間で4車線化を進め、京都府と福井県をまたぐ三国岳トンネル工事並びに舞鶴パーキングエリアからトンネルまでの高架橋工事が進められている。現在の整備状況を問う。

答弁

現在、福井県

境に位置する全長1200mの三国岳トンネルでは、11月末時点で



トンネル掘削現場

あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画
議員定数に関する議論
議会と未来を語ろう

わがまちの発展を促す
議会と未来を語ろう

議会学習会

第30号の節目を寄せて

定例会予定

議会PR

常任委員会の活動計画

令和7年12月～令和8年11月

舞鶴市議会の常任委員会は、重点事項やスケジュールなどを定めて計画的に活動していくこととしており、1年間の活動計画を定めています。

委員の任期は2年ですが、任期全体を見据えつつ、毎年、活動計画を定め、これに沿って活動しています。

また、活動計画に定める重点事項の中から、市民の皆さまや関係団体等との意見交換のほか、現在の施策や現場等の調査、先進事例の調査などを行いながら委員間で協議し、議会から市への政策提言を行う予定です。

【各常任委員会の重点事項】

委員会名	重点事項
総務消防委員会	1 地域防災力の強化・向上に関する調査研究 2 持てる資産の効果的な活用に関する調査研究
産業建設委員会	1 浸水対策の推進及び治水対策の促進に関する調査研究 2 水産業の振興に関する調査研究 3 創業・起業の支援に関する調査研究
福祉健康委員会	1 将来にわたり安心して医療・介護が受けられる体制づくりの調査研究 2 高齢者や障害のある人とその家族が安心して生活することができる環境の調査研究
市民文教委員会	1 夢に向かって将来を切り拓く子どもを育成するための環境づくりに関する調査研究

【大まかな活動スケジュール（主なもの）】

活動時期		活動内容
令和7年	12月	12月定例会の議案審査、1年間の活動計画の策定
令和8年	1月	「市民と議会のわがまちトーク」に向けた協議
	2月	「市民と議会のわがまちトーク」に向けた調整、勉強会
	3月	3月定例会の議案審査、「市民と議会のわがまちトーク」に向けた準備
	4月	「市民と議会のわがまちトーク」の実施
	5月	「市民と議会のわがまちトーク」の結果の取りまとめ、先進地視察
	6月	6月定例会の議案審査、先進地視察の結果の取りまとめ
	7月	政策提言に向けた協議、市内現地視察や勉強会
	8月	政策提言に向けた協議、市内現地視察や勉強会
	9月	9月定例会の議案審査、前年の政策提言の状況確認、政策提言に向けた協議
	10月～11月	総合計画の点検評価、政策提言の取りまとめ、政策提言書の提出、1年間の活動総括と次期への申し送り事項の整理

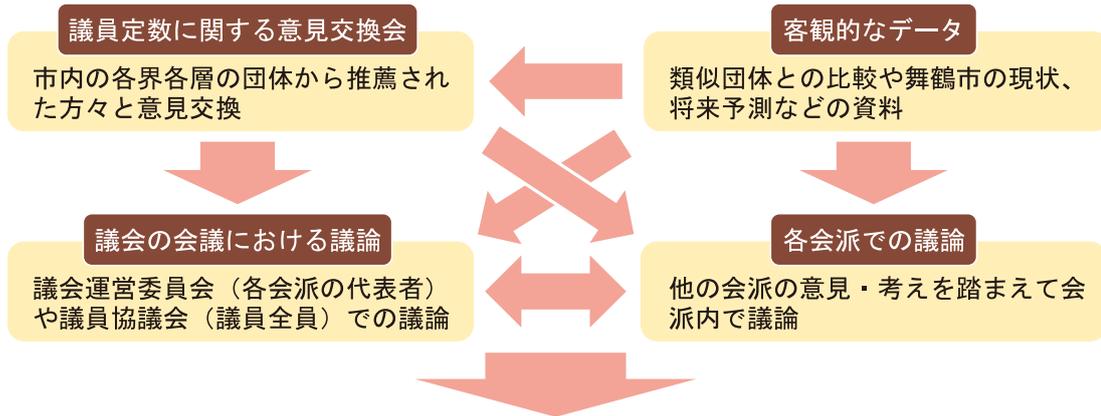
議員定数に関する議論の経過と結論

舞鶴市議会において、適正な議員定数について議論してきた結果、次回の一般選挙（令和8年11月の見込み）から24人（現状から1人削減）とすることを決定しました。

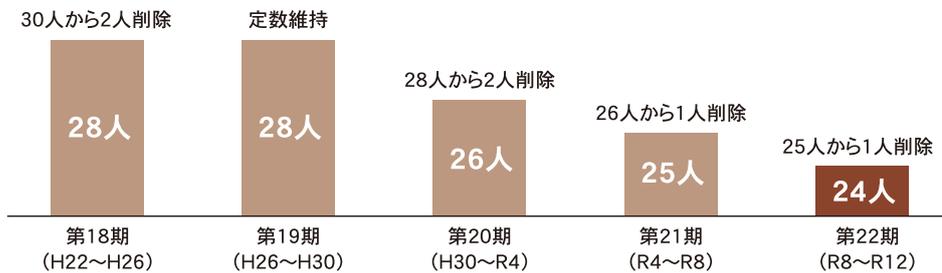
【議論の経過】

令和6年12月から議論を始め、客観的なデータや、市民の皆さまとの意見交換会での意見などを踏まえて、議会内で、議会運営委員会等における議論、会派内での議論を繰り返しましたが、現状維持、1人削減、3人削減の意見に分かれ、令和7年12月定例会において、議員定数を改正する条例案を審議した結果、賛成多数で24人（1人削減）とする条例案を可決しました。

詳しくは、舞鶴市議会のホームページをご覧ください。



【議員定数の変遷】



各議員の賛否



議員定数



議員定数は削減しますが、DXの推進も含めた議会力・議員力の向上に努め、適正規模で最大の力を発揮する議会運営を目指してまいります。

過去の放送内容もお聴きいただけます。



これまでの主な放送テーマ

- 「定例会の議案紹介、審査報告」
- 「市民と議会のわがまちトーク」
- 「議会の情報発信の取り組み」
- 「広報会議」「議会運営委員会」
- 「議員研修会」「請願・陳情」
- 「議会学習会」
- 「議会における防災訓練」など

舞鶴市議会では、定例会開催月（3月・6月・9月・12月）を除く月1回、FMまいづるの「ななこちやっただラジオ」に議員が出演しています。定例会の報告や市議会の進めている取り組みなど、議会に関するいろいろなことをお話ししています。

FMまいづるに出演しています

次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



今後の放送予定

2月27日（金）

放送日時や放送内容については、決まり次第、ホームページ等でお知らせします。

「議会と未来を語ろう ～みんなでほっとミーティング～」を開催

舞鶴市議会では、まちづくりの主役である市民の皆さまと住民自治の根幹である市議会と一緒に舞鶴市の将来（よりよいまちづくり）について考え、市政に反映させるために、市民の皆さまとの意見交換の場を設けています。

これまで、「議会報告会」の名称で実施してきましたが、今回（令和8年1月17日開催）から、「議会と未来を語ろう ～みんなでほっとミーティング～」に名称を変更し、以下の内容で実施しました。

12月定例会の概要報告

- 審議した議案等の基本的事項を説明
- 質疑応答（参加者の皆さまの質問に議員が回答）



舞鶴市の将来に向けた意見交換

- 「将来にわたって誰もが住みやすいまちとするためには、どのようなことが必要か」について、参加者の皆さまからご意見をいただき、議員の考えなども述べながら意見交換

舞鶴市の将来に向けた意見交換では、防災対策、地域コミュニティの維持、人口減少対策、文化振興などのほか、議会に対してもさまざまなご意見をいただきました。

「議会と未来を語ろう ～みんなでほっとミーティング～」は、今後も、定例会の翌日を目途に継続して開催する予定です。開催日は、その都度、ホームページ等でお知らせしますので、ぜひご参加ください。



議員と
語ろう

「市民と議会のわがまちトーク」

参加者
募集中

市民の皆さまと議員が、「わがまち舞鶴」の課題や展望について一緒に考えるワークショップ形式の意見交換会を開催します。

現在、ご参加いただける方を募集していますので、テーマに興味のある方は、ぜひご応募ください。募集期間は、3月11日（水）まで。

事前申込制で、定員は、各回5人（先着順）です。詳しくは、舞鶴市議会のホームページをご覧ください。



参加申込みはこちらから

開催日程		テーマ	担当委員会
4月18日 (土)	午前10時から	児童生徒の不登校への対策 ～未来を切り拓く子どもを育成するための 教育環境づくり～	市民文教委員会
	午後1時30分から	誰もが住み慣れた地域で安心して 暮らせるための支援 ～ケアラー支援条例の必要性について～	福祉健康委員会
4月19日 (日)	午前10時から	これからの公共施設と私たちの暮らし ～これからも安心して暮らせるように～	総務消防委員会
	午後1時30分から	創業・起業の支援について ～一歩踏み出すための支援を考える～	産業建設委員会

※ いずれも、会場は市役所本館4階、時間は1時間30分程度を予定しています。

あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議員定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わがまちの開催案内

議会女子習会

第300の節目を寄せて

定例会予定

議会PR

小学校の議会学習会を開催

舞鶴市議会では、議会に対する理解を促進し、より身近に感じていただくことを目的に、小中学校の児童生徒等が議会の機能や役割などについて学ぶ機会を提供しています。

1月19日には由良川小学校と岡田小学校、20日には福井小学校、26日には吉原小学校、29日には高野小学校と池内小学校の児童の皆さんに議場へお越しいただき、議会学習会を開催しました。

議会学習会の内容は、実際の議会の会議に沿った標準的なモデルをもとに、学校側の意向を踏まえて柔軟に対応しており、今回は、おおむね以下のような流れで実施しました。

今回の議会学習会の内容・流れ

オリエンテーション

- 学習会をサポートする議員の紹介
- 議事堂（市役所本館4階）の見学
- 議会の役割について説明
- 議会のOXクイズ



本会議 ※児童が議員となって議事を体験

- 1 会期の決定 [全員の同意（簡易採決）で学習会の時間を決定]
- 2 議長選挙 [投票により議員（児童）の中から議長を選出。以降は選出された議長が進行]
- 3 補正予算の審議 [提案理由の説明、質疑、討論（賛成・反対の意見）、採決]
- 4 条例制定の審議 [提案理由の説明、質疑、討論（賛成・反対の意見）、採決]

この議会学習会を通じて、市政や議会に対する関心が高まり、舞鶴市議会を身近に感じていただくとともに、将来、ふるさと舞鶴のために積極的にに関わり、頑張りたいと思う人が多くなることを期待しています。



3月定例会予定

2月

24日(火) 本会議（開会・提案説明）

3月

- 3日(火) 請願受理締切
- 6日(金) 本会議（代表質問）
- 9日(月) 本会議（一般質問）
- 10日(火) 本会議（一般質問、議案質疑）
- 12日(木) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 13日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 16日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 17日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 23日(月) 予算決算委員会
- 27日(金) 本会議（委員長報告・質疑・討論・採決・閉会）

※予定は変更することがあります。

第200号の節目に寄せて

「まいづる市議会だより」は、今号で第200号を迎えました。昭和62年の創刊から今日まで、地域の歴史とともに歩みを重ねてこられたのは、ひとえに市民の皆さまの温かい支えとご愛読の賜物であり、心より御礼申し上げます。

この大きな節目を機に、より「開かれた議会」を目指し、次号から順次紙面をリニューアルしていきたいと考えております。読みやすさ、分かりやすさを見直し、時代のニーズに即した親しみやすい誌面づくりに取り組んでまいります。

情報の伝達手段が多様化する現代ですが、議会を身近に感じていただく「架け橋」としての役割は変わりません。200号という歴史を大切にしながらも、立ち止まることなく、さらなる前進を目指します。新しく生まれ変わる「まいづる市議会だより」を、今後ともよろしくお願いたします。

あらまし

委員会審査

討論

防災訓練

採決結果

一般質問

常任委員会活動計画

議定数に関する議論

議会と未来を語ろう

わかまのトク開案内

議会学習会

第200号の節目に寄せて

定例会予定

議会PR